

今月のトピック

政 治

- ◆道上大使の Atlantic Club・ブルガリア経済産業省共催セミナーでの講演
- ◆道上大使のコンドフ外務大臣との会談
- ◆道上大使のウクライナ避難民支援施設訪問

経 済

- ◆道上大使の村田製作所・Endeavor 共催イベント訪問
- ◆道上大使の農産品エキスポ訪問

その他

- ◆和太鼓公演と元国王夫妻ご参席

※月報は、ブルガリア各種メディアの報道等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

※月報の個別メール配信を希望される方は、当館メールアドレス(emb-jp-bg@sf.mofa.go.jp)まで御連絡下さい。

政 治

- ◆道上大使の Atlantic Club・ブルガリア経済産業省共催セミナーでの講演



- ▶令和 6 年（2024 年）11 月 12 日、道上大使は、当地 NGO シンクタンク・Atlantic Club（パシ元外相）の招きにより、フォーラム「Securing the Future: Economic Stability, Defense and Ukraine' s Reconstruction」（於：欧州委員会ブルガリア事務所）にパネリストとして登壇した。
- ▶フォーラムでは、ロシアのウクライナ侵攻が続く中で、ブルガリアを含む EU 及び NATO がウクライナを復興含めどのように支援すべきかが議論され、ニコロフ経済産業大臣、ザブリャノフ国防大臣、プレヴネリエフ前大統領、ウクライナ、米国、英国及び日本各国大使並びにブルガリア経済界代表が参加した。
- ▶道上大使は、セッション「The World and the Russian Invasion of Ukraine」に登壇し、欧州大西洋とインド太平洋の安全保障は不可分であり、「今日のウクライナは明日の東アジアかもしれない」との危機感の下、日本が引き続きウクライナ支援を全力で進めていく旨述べた。また、「自由で開かれたインド太平洋」（FOIP）のヴィジョンの下、日本が国際の平和及び安全のため進める各種取組を紹介した。

◆道上大使のコンドフ外務大臣との会談

▶2024 年（令和 6 年）11 月 26 日、道上大使はコンドフ外務大臣と会談した。双方は、「3 つの周年」に当たって本年行われた要人往来や東芝、明治など日本企業の当地での新たな動きを歓迎し、両国関係を一層後押ししていきたいとの希望を表明した。

▶コンドフ外務大臣は、本年の JETRO ミッションの当地訪問を契機に、特に経済分野について日本との関係を一層加速化することへの期待を表明した。これを受け道上大使は、来年ブルガリアが参加する大阪・関西万博をブルガリアの日本及び世界でのビジビリティ向上の機会として有効に活用するよう期待を表明した。

▶双方は、現下の国際情勢の中で、民主主義をはじめとする基本的価値を共有する両国がグローバルな諸課題についても連携を継続していくことで一致した。



◆道上大使のウクライナ避難民支援施設訪問



▶令和 6 年(2024 年)11 月 6 日、道上大使は、当地 UNHCR 代表とともにプロヴディフ市を訪れ、日本政府支援によるウクライナ避難民支援施設を訪問した。

▶同市の避難民ワンストップショップ (COMPASS) 及びウクライナ避難民居住施設 SECOND HOME は、令和 4 年度日本政府補正予算から当地ウクライナ避難民支援のために UNHCR に供与された 445,898 米ドルから支援を受けて開設された。ロシアによるウクライナ侵攻開始後、早期に日本政府が支援を行ったことで、プロヴディフ市ではウクライナ避難民支援体制が早急に整備され、その後、避難民と地元市民とが支援活動のある程度自立的に行えるサイクルも確立されてきている。

▶ウクライナ避難民団体及び UNHCR からは、道上大使に対し、日本政府支援に対する深い謝意が相次いで表明された。また、道上大使訪問に際してウクライナ避難民の子供達を対象にした折り紙ワークショップが開催され、避難民側からは、文化活動の一環として、柔道など日本文化関連活動を引き続き積極的に行っていききたい旨述べられた。

経 済

◆道上大使の村田製作所・Endeavor 共催イベント訪問

▶令和 6 年（2024 年）11 月 19 日、道上大使は、村田製作所と当地 NPO 団体 Endeavor が開催したイベント「Kumihimo Tech Camp with Murata」（於：Shwarz IT）の授賞式にて言葉を述べた。

▶道上大使は、村田製作所の持つ技術とスタートアップ企業の創造性が組み合わせることで、ビジネスが具現化され、両国に



として WinWin の結果が生まれることを期待する旨述べた。

また、村田製作所が、初の海外開催の地にブルガリアを選択したことに深い謝意を示しつつ、二国間の経済関係を活性させるよう、継続的な取り組みが重要である旨を強調した。

▶当イベントは、村田製作所の製品を使って、スタートアップ企業のアイデア実現化を目指す企画。5 月にアイデアを募集し、8 月までに選考を終え、選考を通過した 6 企業に対し約 2 ヶ月間の準備期間が与えられた。イベント同日には、同社幹部への最終プレゼンテーションが非公開で行われた。

▶授賞式では、同社／岩坪副社長、ムラタ・ヨーロッパ社／中元社長、ソフィア副市長／ゴイチエフ氏がプレゼンターとして登壇し、1 位、2 位、特別賞が発表された。

▶1 位の IRIS 社の提案は下肢に障害を持つ人の自立を助け、生活の質を向上する「車いす補助機器」。IRIS 社に対し、賞金のほかに日本への往復航空券が授与され、岩坪副社長からは、来年の大阪万博と同時期に開催される IVIS 京都への参加を勧めるコメントがあった。（当館注：IVIS 京都。日本最大級のスタートアップ企業向けカンファレンス。来年 7 月 2 日～4 日に開催予定。）



◆道上大使の農産品エキスポ訪問

▶令和 6 年（2024 年）11 月 13 日、道上大使は、当地酪農生産者協会の招きにより、「International Food Expo」（於：Inter Expo Center）にてオープニングの言葉を述べた。

▶当 Expo では、先月、明治と長期共同研究契約を締結した LB ブルガリクムも出展したほか、酪農製品以外に畜肉、蜂蜜、ワイン、菓子を扱う業者も出展した。

▶道上大使は、明治と LB ブルガリクムとの 50 年以上にわたる協力関係に触れつつ、これは単なるビジネスの成功にとどまらず、両国関係の重要な要素でもあり、ブルガリアヨーグルトは日本におけるブルガリアの素晴らしい大使である旨述べた。



その他

◆和太鼓公演と元国王夫妻ご参席



▶2024 年（令和 6 年）11 月 5 日、和太鼓グループ Sai による公演がブルガリア・ホールで実施され、道上大使がオープニング挨拶を行った。道上大使は、来賓として出席されたシメオン・サクスコブルク元首相（元国王）夫妻と日本との結びつきに触れつつ、両国民の共通点や長年

の友好関係を紹介し、また、静かで控えめという日本文化のイメージとは異なる和太鼓の迫力ある演奏を楽しんで欲しい旨述べた。

▶公演には、シメオン・サクスコブルク元首相（元国王）夫妻、キロヴァ第 50 回国民議会副議長、ガネフ同副議長はじめ当地要人や市民が多数来場した。Sai のパフォーマンスに対し、会場は手拍子等で盛り上がり、ブルガリア民謡「私の美しい森」のアンコール演奏では、来場者らは一様に歌詞を口ずさんでいた。公演に関し当地メディアでも広く報道がなされた。

指標	
GDP 成長率（年率予測:最新値） ※EC データ	24 年:2.2% 25 年:2.9%
消費者物価指数（9 月） ※ブルガリア統計局データ	+0.6%（前月比） +1.8%（前年同月比）
失業率（9 月） ※ブルガリア労働省	5.2% （前月比±0%）
公的債務残高/GDP（含む国および地方:6 月）	第 2Q 21.9%（対第 1Q 比+0.4%）

※ブルガリアのマクロ経済指標は、ブルガリア国立銀行HPよりご覧になれます
(<https://www.bnb.bg/Statistics/StMacroeconomicIndicators/index.htm?toLang=EN>)。